

東急車輛製造株式会社 殿

高陸車第 42 号
 昭和 58 年 3 月 18 日
 高松陸運局 整備課
 陸運事務所長

改造概要説明書

改造自動車等審査結果通知書

- 指示事項: (1) 当該通知書は製造番号TD302-75-の1台に限る。
 (2) 保安基準緩和を受けること。 S1125
 (3) 保安基準緩和は設計値をこえぬこと。(5)けん引自動車
 (4) 職権打刻を受けること。 三菱K-FV215JR, K-FV315HR

主要諸元比較表 (改造、(試作)組立)

届出者の氏名又は名称		東急車輛製造株式会社				種別用途		普通(けん引)貨物	
項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準		
車両重量 kg		13370	—	車名		東急	—		
乗車定員人			—	型式		TD302-75	—		
最大積載量 kg		30000	—	形状		セミトラ	—		
車両総重量 kg		43370	≦ 20 t	原動機の型式			—		
長さ m		11.990	()	総排気量 l			—		
幅 m		3.000	≦ 2.5	燃料の種類		※5輪から	—		
高さ m		2.200	≦ 3.8	軸距m		8530+1200=9730	—		
荷台客室	長さ	5.000	—	最小回転半径m		※11.0(11)	≦ 12		
内寸法	幅	3.000	—	オーバーハング			≦ ④ ⑤ ⑥ ⑦ L ₀		
	高さ		—	ボデー後端ま		1.470	(4.865)		
			—	で					
			—	荷台オフセットm		4.080			
空車時	前	3460	—	タイヤ	前		—		
荷重分布	後		—	サイズ	後		—		
積車時	前	16865	≦ 10 t			7.50-20-12PR	—		
荷重分布	後		()	積車時	前		—		
kg		26505	≦ 10 t	タイヤ	後		—		
			()	荷重割合	後		≦ 100		
積載時前輪			≦ 10 t	%		92.0			
荷重割合%			≧ 18	最大安定	右	※ 57	一般 ≧ 35		
			20	傾斜角度。	左	(57)	(30)		
輪	前		—			※ 57			
距	後		—			(57)			
m		(0.870)	—						
		1.600	—						
能力強度等検討	制動能力	踏力 kg 35 km/h ^{0.2} m		車わく強度	σ _B /σ = 4100 / 713 × 2.5 = 2.3 > 1.6				
	空気圧	7 kg/cm ² (7.2)		車軸強度	" = 7000 / 64 × 2.5 = 4.3 "				
	回転数	Nc/N = / =		操縦装置	" = / = "				
	強度	σ _B /τ = / =		懸架装置	" = 7000 / 628 × 2.5 = 2.8 "				
				制動装置	" = 4100 / 833 = 4.9 "				
				連結装置	東急 TD 2516 型トラクタと同一				

目的	当該車両は重機の安全輸送を計る為に新たに製作したものである
車体	
軸距	重量配分の適正化を計るために第5輪から 8530 + 1200 = 9730 ^{mm} とした
輪距	十字型トラニオン1個の輪距は890 mmであるが後部主レールの両側下街に取り付けるため主レール間隔の1600 mmが全体の輪距となる。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	主レール後部下面にトラニオンブラケットを取付けそれにトラニオン軸を通しその軸を中心にして上下に揺動するウオーキングビームを取付け、その両端に取り付けられた車軸にテーパーラベアリングをはめ合せて車輪のホイールを支える。
操縦装置	
制動装置	(主ブレーキ) 気圧内部拡張式2シューアンカーピン型式である。(駐車ブレーキ) 荷台後部の側レールに取り付けられたノブを押すとマキシーブレーキが働き後車輪に制動のかかる構造である。
懸架装置	トラクタとトレーラが分離した時制動のかかる非常中継弁を取付けている ウオーキングビーム方式 トラニオン軸を中心にして前後に揺動し、ウオーキングビームのスピンドルを中心に左右に揺動する構造である。
連結装置	東急 TD 2516 型セミトラ(30 自車第 8 号新型自動車第 11034 号)と同一のものを使用している。 JIS-D-6602 に準じて製作してある
車わく	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部の下面にキングピン、後部に車軸取付の装置を付けている。
その他	

注1. 主要諸元比較表右欄()内の改造、試作、組立は該当するものを○で囲むこと。

注2. 能力強度等検討欄に必要としないものは—、省略したものは×を記入すること。

注: ※印は 三菱 K-FV215JR 型トラクターと連結時の計算値を示す()外 三菱 K-FV315HR 型トラクターと連結時の計算値を示す()内